



## 高校生国際シンポジウム

2月19日(水)・20日(木) 宝山ホールにて一般社団法人Global Academy主催「第10回高校生国際シンポジウム」が開催され、応募した4つのグループの中から61E82班「寝たきりの人の錠剤の飲みやすさの条件について」が選出され、現地にてポスター発表を行いました。



当日のポスター発表の様子

3月も一般社団法人日本生物教育学会主催「日本生物教育学会」、国立大学法人九州工業大学高大接続センター主催「中高生課題研究発表会」、鹿児島大学法文学部附属「鹿児島の近現代」教育研究センター主催「令和6年度『総合的な学習(探究)の時間』成果発表会」、第一薬科大学・日本薬科大学・横浜薬科大学主催「第7回高校生サイエンス研究発表会2025」、志学館大学主催「高校生・大学生・大学院生の課題探究/研究発表大会」で、鹿児島中央高校生が研究発表を行います。今年度は、多くの研究班(科学部も含む)が各発表会・交流会に参加してくれました。来年度は、61期生の各探究班とこれから本格的に研究活動に取り組む62期生各探究班が、研究内容の質を高め、学会や研究発表会で成果を披露することを期待しています。

## 第2回「理工系で活躍されている女性研究者による講演会」

2月21日(金)午後、本校大会議室にて第2回「理工系で活躍されている女性研究者による講演会」を実施しました。講師には森永乳業株式会社研究本部基礎研究所プロバイオテイクス研究室研究員 平工明里様をお迎えし、参加を希望した1・2年生87名に「腸内フローラとビフィズス菌」に関して御講演いただきました。生徒たちからも大変好評で、「先生がす

っと笑顔で親近感のわく話し方だったので話を聞くのが楽しかった。生物だけでなく、探究の研究のヒントにもしたいと思った。」「研究職とか今まであまり興味を持ったことがなかったが、今回の講演を聴き、研究職や誰かのために製品を開発することは、格好いいなと感じた。また、子どもを育てながらも仕事を続けられていて、将来の自分の人生設計も少し変わった気がする。」といった感想が寄せられました。



講演の様子



質疑応答の様子

## 国際科学技術コンテストの案内

SSHⅡ期1年次の今年度、初めて国際科学技術コンテストの一つである「科学地理オリンピック日本選手権および国際地理オリンピック選抜大会」に2年生から地理選択の2名が参加しました。国際科学技術コンテストは、全国の高校生と科学に関する競い合いと交流を深める全国大会であり、数学・化学・生物・物理・情報・地理分野で行われる「科学オリンピック」と「日本学生科学賞」・「高校生科学技術チャレンジ」の課題系コンテストで構成されています。これらは難関国公立・私立大学などへの総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜入試などで特典制度も充実しており、進路実現に向けた足がかりをつくる良い機会にもなります。

来年度教室掲示等で案内しますので、多くの生徒の積極的な取組を期待しています。

日本数学オリンピック 国際数学オリンピック(IMO) ▶ 応募要項	化学グランプリ 国際化学オリンピック(IChO) ▶ 応募要項	日本生物学オリンピック 国際生物学オリンピック(IBO) ▶ 応募要項
全国物理コンテスト 「物理チャレンジ」 国際物理オリンピック(IPhO) ▶ 応募要項	日本情報オリンピック 国際情報オリンピック(IOO) ▶ 応募要項	日本地学オリンピック 国際地学オリンピック(IESO) ▶ 応募要項
科学地理オリンピック 日本選手権 国際地理オリンピック(IGeo) ▶ 応募要項	日本学生科学賞 リジェネロン国際学生科学技術フェア (Regeneron ISFF) ▶ 応募要項	高校生科学技術チャレンジ (USEC) *支援は平成30年度で終了 ▶ 応募要項

「国立研究開発法人 科学技術振興機構HP」より

発行：SSH推進部広報係  
2025年3月発行